

市内全域に避難情報をメール配信

1月25日(土)6時30分～12時10分、京都府と舞鶴市、福知山市、綾部市が共催で「京都府原子力総合防災訓練」を実施。皆様のご理解とご協力をお願いします。
訓練に関するお問い合わせは、危機管理・防災課（☎66・1089）へ。

《訓練の概要》

同日、6時30分に福井県で発生した地震により関西電力株式会社高浜発電所で事故が発生し放射性物質が漏れ出したことを想定。市内全域に緊急速報メールやまいづるメール配信サービスにより避難情報などを配信するとともに、一部地域を対象とした防災行政無線や広報車などによる情報伝達訓練や住民避難訓練を実施します。

◆住民避難訓練

Aゾーン（松尾・杉山地区）、A-2ゾーン（大山・田井・成生・野原地区）の一部の住民の皆さんに三段池公園（福知山市）までバスで避難していただき、スクリーニング（放射性物質による身体汚染の検査）を体験。

また、B～Fゾーンでは警察官、消防団員、消防職員、市職員により一部の避難時集結場所（現地指揮本部）の開設・運用訓練とパトロール訓練を実施します（一部の消防団員は三段池公園でスクリーニングを体験）。

◆情報伝達訓練

《携帯電話などへのメール配信訓練》

◆緊急速報メール（市内全域）

NTTドコモ、KDDI(au)、ソフトバンクの「緊急速報メール」を活用し、事故の状況や避難指示、屋内退避指示などを市内全域に配信。

◆まいづるメール配信サービス（防災情報登録者）

事故の状況や避難指示、屋内退避指示などを防災情報登録者に配信。

（※登録方法は28頁を参照）

◆配信時間と内容（ゾーンは下図参照）

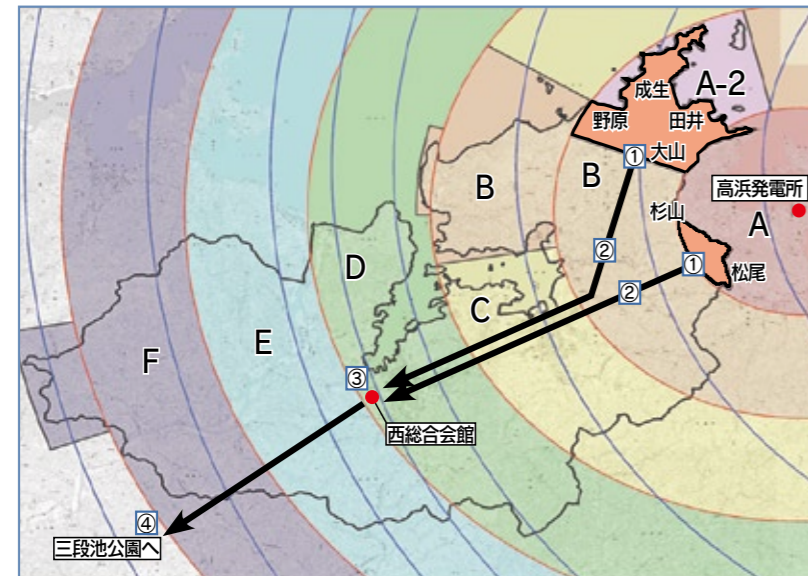
配信時間	内容
7時40分ごろ	A・A-2ゾーンは避難準備
8時40分ごろ	A・A-2ゾーンは避難開始 B～Fゾーンは屋内退避
9時10分ごろ	B～Fゾーンは避難開始

※実際の事故発生時はゾーンごとに段階的に避難指示が出ることが予想されますが、今回は訓練のため、まとめて避難指示を出します。

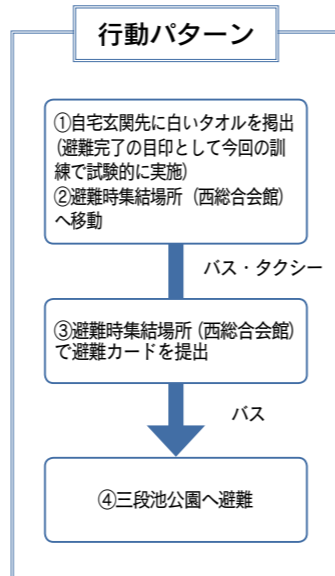
《その他の情報伝達訓練》

A・A-2ゾーンを対象に防災行政無線や広報車・各消防団による巡回で避難情報などをお知らせする情報伝達訓練を実施。

住民避難訓練のイメージ（A・A-2ゾーン）



※ご自分の地域のゾーンや避難時集結場所は、昨年6月に全戸配布した避難カードでご確認ください。市ホームページでも閲覧可。ご不明な場合はお問い合わせを。



▲東舞鶴駅で引揚者を温かく送り出す様子

「引揚手記 私の引き揚げ」より抜粋
舞鶴市民の思い出
「引揚者が通る目抜き通りの所々には、婦人会員たちの献身的な湯茶の接待が行われ、いろいろと心配りされた。市民こそこの運動に、きつとこの真心が通じるに違いない。」

引揚記念館の資料をさらに充実させ、舞鶴市民が関わった引き揚げの史実を次の世代に語り継ぐため、当時の舞鶴市民の歓迎の様子が分かる写真など、資料の募集をしています（ページ下を参照）。
寄贈いただいた資料は、記念館で大切に保存・展示してまいりますので、ご協力をお願いします。
また、当時の状況について、市民の皆さんに広く知っていただくため、舞鶴市民と引揚者の手記の一部をご紹介します。

引揚者を温かく迎えた舞鶴の歴史
寄贈していただける資料を探しています



「私はこんなにも温かい出迎えを受けるとは予想もしていなかった。石の礫を投げつけられても文句は言えない敗戦の身への祖国の人達の思いやりの心に胸迫り、目頭を熱くしたのは私一人ではなかったようだ。」

引揚者の舞鶴への思い出

「女学生当時の出征兵士の見送りは悲しく恐ろしく淋しい思い出ですが、この引揚者帰省の見送りはおめでと、ご苦労様でした。長い間のお疲れを伺い見て走り去る汽車に涙をいたしました。」

「小学二年生の昭和二十三年でした。しよるか。私達は吉原小学校から引揚の人達への慰問に行きました。大勢の人達の前の舞台上、私は「タコタコ入道さん」、他の人は「お猿の駕籠屋」などを踊りました。この女子二名による「お猿の駕籠屋」は大人気で、拍手喝采、アンコールが掛かっていました。」

「出迎えの舞鶴婦人会の方々、留守家族の方々から「永い間ご苦労さまでした」心からの暖かい歓迎の言葉を受け、感謝の敬礼をし乍ら宿舎へと向かった。」



▲ホームの端で最後まで手を振る舞鶴市民

「多くの者は素直に舞鶴の大勢の方々からの心からの歓迎を戴きました。これは荒みきった状態から立ち直るよい機会ともなり、戦後の人生の出発点となりました。私達にとっては、舞鶴は忘れることのできない第二の故郷であります。」

「私たちの寒れた姿が、よほど痛々しかったのだろうか。汽車を待っていた年配の婦人が「どうぞ」といって、自分の昼食と思われ握りめしを、私たち数名に、一個ずつ配ってくれた。厚くお礼を言って、握りめしを食べたが、後日、国内の食糧事情の窮状を知り、このとき、何気なく貰って食べた握りめし一個の重さを、いつまでも忘れてはならないと、肝に銘じた。」

◆手記は1月31日(金)まで引揚記念館で開催中の企画展「Maizuru Spirits」で展示

▼詳しくは、引揚記念館（☎68・0836）へ。

募集内容

- 【対象資料】
昭和20年～33年までの引き揚げ実施期間中の市民による駅頭でのお茶やふかし芋のふるまい、慰問演芸など、当時の市民の歓迎の様子が分かる資料
◆駅頭でお茶などの接待をしている市民の写真など
◆引揚者を出迎えた時に使用した旗など
◆「帰国歓迎」「おかえりなさい」ご苦労様でした」などのポスター類など
- 【寄贈条件】
①引き揚げ当時のものであること
②資料の経緯がわかること
③複製または複製品でないこと
④寄贈であること（所有権は市に帰属）
※資料の内容によっては、受け付けられない場合もありますのでご承知ください。
- 【受け付け方法】
引揚記念館への持ち込みか郵送（住所、氏名、電話番号、資料の概要を記載し同封）で。
※資料の詳細についてお話を伺わせたい場合があります。